

令和元年度決算がまとまりました

保険料減収、保険給付費および納付金が増加し 厳しさを増す健保財政

令和元年度決算案などを審議するCNCグループ健康保険組合の組合会が7月28日(火)に開催され、収入支出決算案などの議案が全会一致で承認されました。

一般勘定の収入総額は7億1131万9千円、支出総額は5億6130万円、収入支出差引額で1億5001万9千円の残金を計上することができました。また、単年度の財政状況を示す経常収支でも、経常収入合計は6億2725万6千円、経常支出合計は5億4979万円、経常収支差引額は7746万6千円の黒字になりました。

平成30年度決算は、納付金のうち前期高齢者納付金が過去分の概算納付額と確定納付額の精算により減額・返還されたことが寄与し、1億7727万6千円の黒字でしたが、令和元年度と同納付金は前年度に比べ5334万3千円増加しました。また、保険料の減収や保険給付費の増加もあり、黒字幅は縮小しました。今後は、納付金がさらに増加することが見込まれるなど、健康保険組合を取り巻く財政環境は厳しさを増すものと予測されます。

令和元年度 一般勘定

収入

保険料率は前年と同率の1000分の88で、保険料収入は前年度から1711万2千円減の6億2584万円、調整保険料収入1085万2千円、前年度からの繰越金5000万円、納付金に対する国庫補助金2

082万9千円、財政調整事業交付金238万2千円、その他の収入を含めた収入総額は7億1131万9千円と、前年度から1187万3千円の増加となりました。

令和元年度収入支出決算の概要

一般勘定

決算基礎

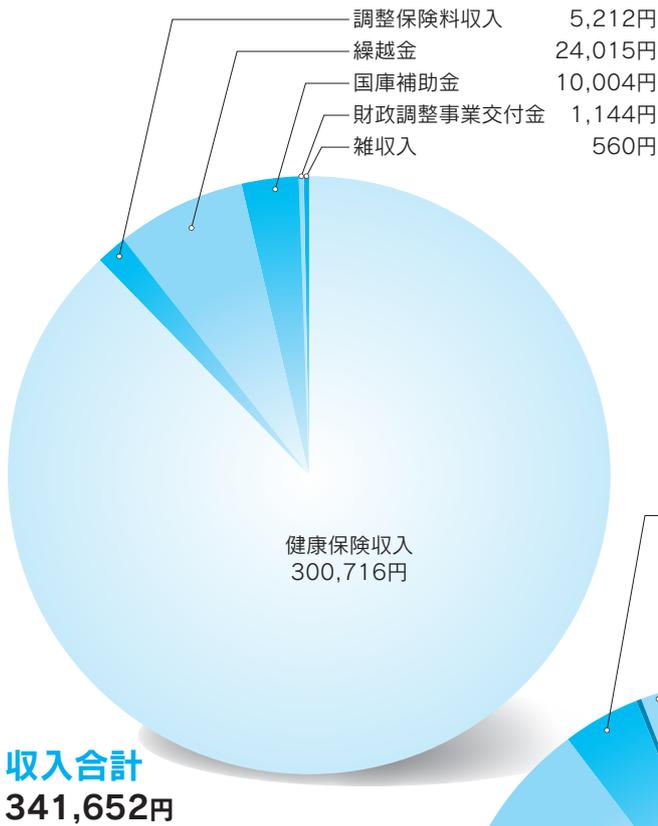
- 被保険者数 2,082人
- 平均年齢 29.14歳
- 平均標準報酬月額 267,444円
- 保険料率 88/1000

収入	科目		決算額(千円)
	健康保険収入	保険料	625,840
	国庫負担金	250	
	調整保険料収入	10,852	
	繰越金	50,000	
	国庫補助金	20,829	
	財政調整事業交付金	2,382	
	雑収入	1,166	
合計			711,319

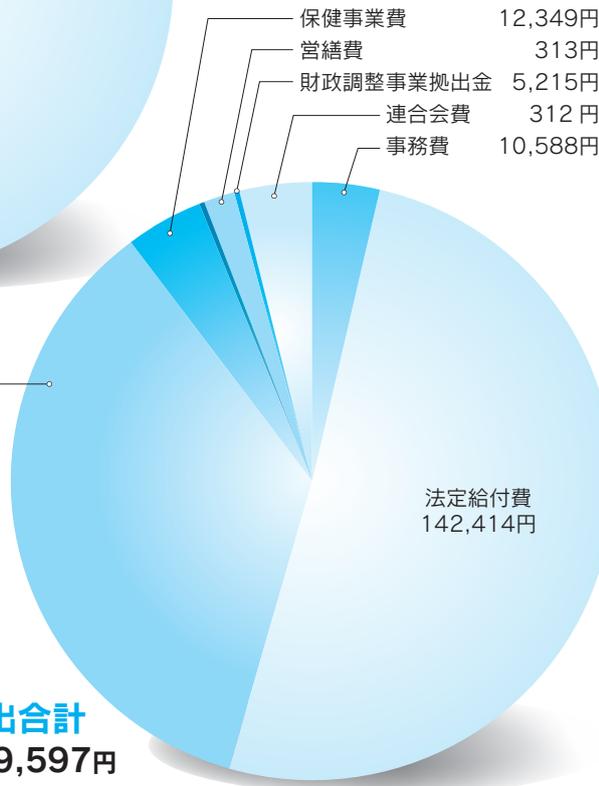


支出	科目		決算額(千円)
	事務費		22,045
保険給付費	法定給付費	本人	179,024
		家族	101,054
		高齢者	948
		高額療養費	15,479
納付金	前期高齢者納付金	53,352	
	後期高齢者支援金	151,512	
	病床転換支援金	1	
	退職者給付拠出金	16	
保健事業費	特定健康診査事業費	5,375	
	特定保健指導事業費	106	
	保健指導宣伝費	5,626	
	疾病予防費	14,603	
営繕費		652	
財政調整事業拠出金		10,858	
連合会費		649	
合計			561,300

被保険者 1 人当たり収支



事務費 220万4千5百円、保険給付費（法定給付費）全体で2億9650万5千円、高齢者医療制度にかかわる納付金等が2億48万1千円、保健事業費は特定健康診査事業費（特定健診・特定保健指導）548万1千円、保健指導宣伝費562万6千円、疾病予防費1460万3千円を計上、保



健事業費全体で2571万円、その他の支出を含めた支出総額は5億6130万円と、前年度から3765万2千円の増加となりました。



令和元年度収入支出決算の概要

介護勘定				
決算基礎		●第2号被保険者数 本人 144人 家族 45人	●平均標準報酬月額 328,214円	●介護保険料率 20/1000
収入	科目	決算額(千円)	1人当たり額(円)	
	介護保険収入	12,990	90,208	
	繰入金	2,000	13,889	
	国庫補助金	163	1,132	
	雑収入	1	7	
	合計	15,154	105,236	
支出	介護納付金	14,268	99,083	
	合計	14,268	99,083	

介護勘定

保険料率は前年と同率の1000分の20で、介護保険収入は1299万円、準備金からの繰入金200万円、一方、支出は介護納付金が前年度から87万3千円増の1426万8千円となりました。介護勘定の収入支出差引額は88万6千円となっています。